

越前町議会・令和7年12月定例会一般質問【伊部 良美議員】

(令和7年12月3日 午前10時38分 開始)

○12番（伊部良美君） 議長のお許しをいただきましたので質問をいたします。

質問に先立って、町長、全国豊かな海づくり大会が2028年に県内で開催されることに決まったことを11月6日に杉本知事が発表されました。福井県の開催としては1986年以来、42年ぶりの二度目となり、本町の漁業の振興にも大きく寄与され、さらに発展につながるものと期待をいたすものであります。

本町にも漁業の安全操業のためのドック場建設やさらに荷さばき所建設の工事も目前にして、将来は嶺北地区の漁業の拠点として、越前漁業組合と脚光を浴び、かにミュージアムの道の駅も福井県の代表格、「かにの館」に天皇陛下が見えられた際にはお立ち寄りを願うように期待を寄せるものであります。その際には越前地区の各地区に船みこしを担がれたり、子どもの大漁太鼓の共演をお披露目して、勇気づけられれば喜ばしいことだと思っております。町長、越前漁業組合長との力を携えて、本町への誘致に力を注いでいただきたいと思っております。

それでは、質問に移りたいと思っております。

1番目に、アクティブハウス温水のプール休業についてお伺いをいたします。

温水プールが休止になって2年近くになるかと思われますが、私も昨年の6月の議会で質問をしたときの答弁は、プールの廃止を含めたアクティブハウスの施設の全体の見直しをしたいので、少し時間をほしいとのことでありましたが、その後、何か具体的な構想の思案ができたのか、検討委員会の組織のメンバーを教えてください。何か最近、耳にするのですが、プール棟の周辺だけの改裝であるようだが、間違いないかただします。

○議長（藤野菊信君） 産業理事。

○産業理事（高木剛彦君） 産業理事、高木です。

それでは、伊部議員のご質問にお答えいたします。

越前海岸地域観光活性化計画策定委員会の委員ですが、越前町議会から2名、越前地区区長会から2名、福井県観光連盟、越前町観光連盟、越前町商工会、越前町漁業協同組合からそれぞれ1名、行政機関から2名の計10名で構成しております。また、地域に密着した民宿、旅館業、飲食業の方々を中心としたワーキンググループを15名で構成しております。

その中では活性化に向け、提案された施策などを盛り込み、プール等の構造躯体を利用しつつ、新しい用途の建物へ生まれ変わらせるコンバージョン方式を視野に入れて検討をしております。

以上でございます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） ありがとうございます。

それでは、越前海岸地域観光活性化計画策定委員会の会議は何回持たれたのでしょうか。

地域に密着した民宿、旅館業、飲食業を中心としたワーキンググループの会議は何回ぐらいですか。

もちろん委託業務に依頼もされているかと思われますが、委託業者はどこなのか差し支えがなければと思います。

いつ頃までに計画案は出来上がるのか教えてください。

○議長（藤野菊信君） 産業理事。

○産業理事（高木剛彦君） 産業理事、高木でございます。

今の検討委員会の回数につきましては、現在把握しておりません。

それとワーキンググループについてもまだ回数については把握しておりませんが、今後の計画につきましては、今月、また検討委員会のほうを開催し、検討のほうを煮詰めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） なぜ聞くかというと新築か改装かと、改装に利用するか検討されるのは3月に結果が出せるような考えでありますように伺っていますが、この建物の場所の、越波などの被害に再三遭われているかと思っていますが、今度建設されるにしても、元真砂屋さん跡地の沖合までは離岸堤があります。越波対策が講じられていて、アクティブハウスの一帯には消波ブロックだけで、離岸堤はございません。

そういう意味で、福井県に対して今後、アクティブハウスの沖合にも地元漁業者の町として理解を求める、積極的に県に要望されることはと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（藤野菊信君） ちょっと待ってください。今の発言は通告書には載っていない発言なんですか。

（「これは通告していますよ」の声あり）

○議長（藤野菊信君） 聞いていませんということですけれども。

○12番（伊部良美君） いや、ちゃんと昨日電話でしています。

○議長（藤野菊信君） 電話、昨日か。

○12番（伊部良美君） それはすり合わせが昨日、おとといの状態で、私の答弁書が昨日やっとできた状態です。再質問に対しては通告しました。よろしいでしょう。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） こういうことを考えているか考えていないか、その辺だけでもお聞きしたいんですが、いかがですか。離岸堤。

○議長（藤野菊信君） 産業理事。

○産業理事（高木剛彦君） 産業理事、高木でございます。

今、伊部議員さんのご質問でございますが、あそここのところは一度、今、かさ上げした状態で、その後、越波のほうは直接、アクティブハウスのほうには被害を与えていない状況ではございますけれども、今後、県の当局とも一度、ご相談させていただいて、また協議させていただきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） ありがとうございます。

ぜひそういう離岸堤について、まず安全地帯を作らんことには、私は将来、何をする、何をするといつても、今、露天風呂のところでも再三越波があって、そこに傷んだり、施設が被害を被っているので、そういうところを含めてまた協議してほしいと思っています。

それでは、2番目の3階のブルーシーが閉鎖状態になっているのは、エレベーターの故障が原因で休まれているのか、それともこの際、もう営業をやめたいとの申出があって閉鎖しているのか、エレベーターの故障が稼働するようになれば営業を続ける考えでいるのか、もし営業をやめたいという申出があるなら、この食堂を今

後どのように使用を考えているのか。

何かプール棟のところに食堂を計画されているように伺うが、この計画が事実であれば、ブルーシーの後、足湯の広場としてドリンクや越前産のハンバーグ等の地元の海産物の特有の商品を考え、若者の憩いの場として打ち出す考えにならないか、お伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 産業理事。

○産業理事（高木剛彦君） 産業理事、高木です。

それでは、ご質問にお答えいたします。

道の駅3階のブルーシーにつきましては、平成8年4月に契約期間1年間の賃貸借契約を締結し、契約を更新しながらアクティブハウス越前の利用者に対し、飲食物を提供することを目的として使用されておりましたが、令和5年度の契約期間が満了する旨を通知し、協議したところ、更新に至らず、令和6年3月31日をもって賃貸借契約が終了し、閉鎖している状況です。

ブルーシー跡の利活用につきましては、観光連盟や公共施設管理公社とも連携しながら、道の駅全体の計画の中で総合的かつ慎重に検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） ありがとうございます。

一体的にそれを、今の計画のプール棟の跡地の計画とはまた別にこれはやられるような考えを持っていらっしゃるようですが、ぜひそういうところも含めて考えていただきたいと思っております。

それでは、次に、この際、アクティブハウスの広場もお子さんの遊び場や道の駅の駐車場に利用するとか、平日でも10台ぐらい、土日祭日ともなれば数十台の車が駐車されて、車中泊をされているお客さんなどに利用するような施設に貸し出すような考えにならないか、お伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 産業理事。

○産業理事（高木剛彦君） 産業理事、高木です。

それでは、ご質問にお答えいたします。

アクティブハウスの広場につきましては確かに祭りなど、越前地区で開催されているイベント会場として活用されており、にぎわいを創出する広場であると認識しております、現在のところ、宿泊を目的として車中泊をされる方への貸出しについては考えておりません。

以上でございます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 国道から町道になったアクティブハウスの広場の屋根、道の駅へ渡られる横断歩道に屋根を設置する考えにならないのかどうか、また、道の駅一帯の駐車場の管理も県の道路保全課が管理されているので、雨天に向かうと傘を差して渡る人混みにあったり、車椅子を利用するお客さんに大変な迷惑となっております。もうこの一帯は道の駅としての考えを利用し、越前かにのお城としてのかにの力をそそぎ、誘客に勤める漁業、観光の発展にと思われますが、いかがでしょうか。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、伊部議員のご質問にお答えいたします。

横断歩道の屋根の設置についてですが、設置するには町道を通過する車両の安全

性を確保するための建築面での課題、また、設置後の維持管理費等、クリアすべきハードルが高いのが現状です。一方で、道の駅とかにミュージアムの一体性、機能性、利便性を図るための重要な要素の一つだとも思っております。

今後、関係機関との協議も視野に入れていきたいとも考えておりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） ありがとうございます。

今回、全国の豊かな海づくりの大会を2028年に福井県の開催を本町に誘致し、積極的に名のり出て、越前がに、越前水仙の産地として、この機会を利用しながら道の駅周辺の整備に国・県の協力を働きかけていただきたいと思っております。

続いて、2番目の町有地の公有水面の埋立てについてお伺いをいたします。

越前町厨地係の越前町の公有水面について4年ほどたつが、測量会社に委託されたと思うが、その後、どうなっているのか。

何か聞くところによると、さらに詳細にするために土地家屋調査士に依頼されたようにもお伺いをしていますが、それからでも1年経過したかと思っております。いつ頃に結果が出るのか、測量会社の測量図だけでも利害者に見せることはできなかいか、お伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（原 雅哉君） 建設理事、原です。

それでは、伊部議員のご質問にお答えをいたします。

県が測量会社に委託した過去の公図や地積測量図などを基にした測量作業は、令和3年3月に完了いたしております。

その後、令和6年12月には専門的見地から測量図を精査するため、県において土地家屋調査士に依頼し、越前町公有水面認可図をはじめ、既存の地積測量図と現地を測量した結果の整合性などを進めてきました。しかし、その調査範囲の広さと過去の資料の複雑性から確認に手間取っており、現在も作業中であると聞いております。

このような中、測量図だけでも利害関係者にとのご意見でございますが、現在進めている作業の後、確定測量図が完成した段階で、関係者へ説明、提示していくと伺っております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 今、隣の茂原地区の周辺と厨の埋立ての件を同時期に依頼をされ、茂原漁港周辺は整理をいたしました。

今回の厨地区の公有水面については、私の経験からすると、答弁書にありますが、過去の資料の複雑性、整合性から確認に手間取っており、現在も作業中であると説明をされておりますが、私には全く理解ができません。町の担当の誰が作業をしているのか、丹南土木の管理課長とも相談されているようだが、私には全く誠意が見えません。これについてどう思われますか。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（原 雅哉君） 建設理事、原です。

議員ご指摘のとおり、長期化していることは事実であります。先ほど申し上げたとおり、現在、県におきまして、越前町公有水面認可図や既存の地積測量図と現地測量の結果との整合性を専門的な見地から、慎重に精査しているところでございます。

町といたしましては、都市整備課の職員が窓口となりまして、丹南土木事務所鯖江丹生土木部の管理用地課長とも密に連携を取りながら作業の進捗状況を把握し、必要な資料の提供などを行っております。

今後は確定測量図の完成を見据え、関係者間の合意形成に向け、県と連携して鋭意進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 答えてはいただいているんですが、測量会社、私もちょっと問合せすれば、もう成果品は渡してありますということでございます。それをもしよろしかったら、一度、県と相談して、私の手元に見せていただくようにお願いして、次に移ります。

漁港区域の場所については県と協議されるような形であったが、その後、どうなったのかお伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 建設理事。

○建設理事（原 雅哉君） 建設理事、原です。

それでは、お答えをいたします。

漁港区域の場所につきましては、農林水産省所管の国有地で、現在は町が道路区域として県より管理移管を受けております。今後の所管について県と協議を進めるためには、前述の公有水面の境界画定と表示登記の完了が求められます。

完了のめどがつき次第、関係機関と協議の場を設け、漁港区域内の道路の在り方や管理、所管の適正化について協議を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） この漁港区域は、こんな簡単な話が、なぜ聞くかというと、漁港区域の場所は農林水産省の所管の国有地であります。その場所を国道、町道、今、その園地かな、それに使っているのは土木部のほうです。それを私がしつこく言うのは、水産省から建設省が払下げを受けてこいということを切に言っているんですね。これは4年前から。

こんな簡単な話さえ、まだ滞っていると、ああだこうだと言っているんですが、これもひとつ、もうちょっと積極的に県にも働いて、農林水産省からまず建設省に払下げを受けてこいという私のことも含めて、一度、理事者とそういう考えになるようにひとつ進めていただくようお願いを申しておきます。

高田町長になられ、一日でも早く解決され、国道305号線の梅浦道口間の促進に努めてほしいと思いますが、町長のご所見をお伺いいたします。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、伊部議員のご質問にお答えいたします。

国道305号の梅浦道口間のバイパス事業は、本町の重要課題の一つと認識しており、本年も県に対し、重要要望書を含め、あらゆる機会において強く要望してまいりました。また、国に対しましても、道路関係の全国大会の都度、要望の機会のたびに県選出国会議員へ要望しております。

今後も引き続き早期の事業化に向け、国や県と緊密に連携を図りながら要望活動を行ってまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、厨地係の公有水面の件につきましては、昭和58年の埋立てから42年が経過している案件で、その後、県による埋立てもあり、作業に不測の時間を要しておりますが、現在、県において鋭意努力されておりますので、町といたしましても

引き続き、県と緊密に連携を取りながら、この課題に取り組んでまいる所存ですので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 町長の言葉を返すようですが、昭和57年の埋立てから42年経過したと言われておるんですが、合併してからこの土地の売買の話を町が裁判をかけているんですね。その結果、その土地を買っておるというふうなこともあるので、またその辺を含めて検討していただきたいと思っております。

時間もないで、次に移りたいと思っています。

越福ドリーム協議会の運行についてお伺いをいたします。

9月の議会の質問の中で、病院の通院の患者さんのバス利用については、町が全局的に考えたい旨の答弁があったかと思っておりますが、町としてその後、どのような対策を考えているのかお伺いをいたします。

一方、越福ドリームライン協議会では、この案件に対して民生委員の方へ運行に対する調査など、取り寄せられているように伺っていますが、町として把握をなさっているのかお伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（山口隆司君） それでは、お答えをいたします。

町外へ通院されている方に対する支援の在り方については、福祉の観点も含め検討をしてまいります。

また、民生委員の方を通じてされた調査結果につきましては、越前地区内で10人ほどの方が利用を希望していたと話を伺っております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） これは3月までに試験的に無料バスの朝一の運行に対しての学生や保護者の方の反響はどのように伺っているのか。

また、越福ドリームライン協議会の役員さんが朝一の運行バスに同乗を申し込まれたが、断られた理由はなぜなのかお伺いをいたします。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（山口隆司君） お答えいたします。

保護者からは、大変ありがたいや大変助かるといった声をいただいております。

なお、直行便への同乗につきましては、これは乗車には定期券を購入されていることが条件であることから、今回見送らせていただきました。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 朝一の構想の計画は、ドリームライン協議会の会長をはじめ、役員さんが何度も会議を開き、廃止による代替案として、高校生のご父兄や通学の学生さんたちの意見なりを見聞して決められたものであり、町としてドリームライン協議会と何の相談もせず、独断、先行で、今では協議会との意見には、陸運事務所の国土交通省のガイドラインを盾に取って、いや、料金は駄目だとか何か因縁をつけているように感じられてなりません。

もっと協議会の会長さんたちの意見も交えて、町として財源的にもベターな方向性を考えてはと思うが、いかが思われていますか。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（山口隆司君） お答えいたします。

越福ドリームラインにおかれましては、地域における移動の課題解決に向け、主

体的に取組をされていることは大変意義深いことであると考えております。

一方、特定の任意団体への新たな補助や委託につきましては、様々な観点から検討を要する事項でありますので、ご理解を賜りますようお願いをいたします。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○1 2番（伊部良美君） 朝一のバスの運行について、今年度限りでやめるのか、来年度の運行を継続される考えでいるのか、町の状況判断の考えをお聞かせください。来年の福井方面の入学を希望している皆さんの中の選択肢の一つにも考える条件になるかと思っておりますので、町としての方針の考えをお聞かせいただくように。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（山口隆司君） それでは、お答えいたします。

来年度の運行につきましては、現在の利用者数や他地区からの要望等も踏まえ、対象者などを含め、一部制度運用の見直しを図った上で継続してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○1 2番（伊部良美君） 令和6年3月1日付の国土交通省の道路運送法の許可または登録を要しない運送に対するガイドラインと越福ドリームライン協議会の進め方に沿わないような感じを抱くのですが、町としてどのように思われているのか、よろしくあつたら相違点についてお聞かせいただければ幸いかと思っています。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（山口隆司君） お答えいたします。

道路運送法の許可または登録を要しない運送に関するガイドラインの中では、高齢社会や観光客の来訪などを考慮した場合に、地域での互助活動、ボランティア活動などによる許可、登録を要しない無償運送の必要性が記載されております。

一方、今日までに越福ドリームライン運営協議会で運行を計画されていました福井方面への運行体系は、運送に対して料金を受け取り、許可、登録を要する有償運送になります。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○1 2番（伊部良美君） まずは高校生の朝一については、越福ドリームライン協議会として町の施策にお任せした考えにと見て取られているようにうかがえ、当初の朝一の一定の目標を達成されたかと思っております。

来年度からは町で朝一の運行を1年を通して、今の考え方の運行を継続されることをお願いしているようにも見て取れております。町としての考えは間違いないかどうかお聞かせください。

また、福井の病院へ通院の患者さんの運行については、町の回答には前向きでないよう思いますですが、運転手の皆さんのボランティアの下、協議もされ、実施もされているように伺いますが、町はこの活動に対していかが思われているのか、ご所見をお願いいたします。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（山口隆司君） お答えいたします。

来年度の運行につきましては、一部制度運用の見直しを図った上で継続してまいりたいと考えています。

また、ボランティアによる運送は道路運送法における許可または登録を要しない

運送に関するガイドラインにおいて、社会経済活動の維持のためには一定の役割が必要であり、地域における移動資源の確保がかなり困難になっている中で、公共交通機関や有償運送の果たす役割を補完することが重要であるとされていることから、自ら車両を手配するなどの共助による運送は、町の公共交通を補っていただく大変心強い取組と考えております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 伊部良美君。

○12番（伊部良美君） 町といたしましては、答弁がありましたように、越福ドリームライン協議会のような町の公共交通を補っていただく大変心強い取組と考えておりますと評価されておりますが、この通院の患者さんの運行については、町としての対策は、高校生の朝一の運行からすると何の対応がされずにいると思われてなりません。

ドリームライン協議会として、11月26日に通院の患者さんの要請もあり、試験的にやられたように聞いております。利用された患者さんから大変助けられないと喜ばれる答えを私の耳にもいたしておりますが、また、2月にもお願ひしたいと申入れがあつたように伺っております。

町として、病院の通院の患者さんの対応策もドリームライン協議会と早急に取り組まれ、町としてドリームライン協議会の要請に対して、私は車両の購入とか年間の活動費とかいろいろと耳にしていますが、私は核燃料税で住民サービスの向上から住民の福祉や教育に力点を置き、利用すべきと思われますが、令和7年度の予算には、ごみの収集に約3,000万円ほどの計上をされていて、なぜ越前地区だけがこのような財源を核燃料税から考えているのか、今回のような事案が起これば、県のエネルギー課には1年の予算化の計上の報告書もないで、町独自の組替えだけの課題であるように思っております。県のエネルギー課へは年度末の3月に1年に使った報告だけであるので、私は町長の腹一つの考えだと思っております。

町長も越福ドリームライン協議会の運営には、私も異常なぐらい関心を持たれていると思っております。学生の朝一の運行1つ取っても理解され、対応されてもいるので、表れていると思っております。一方、通院の患者さんの通行には、病院の予約制であるので、しばらくの間はどうかと思うが、落ち着けば週のうち月曜、木曜と週2回ぐらいの運行になる考えではないかと思っています。

聞けば、明日12月4日に陸運事務所の方、町の担当、ドリームライン協議会のボランティアの運転手の会長さんたちのミーティングがあるようにも伺っておりますので、いい結果で終わられるように町としても働きかけをお願いして終わります。

（午前11時12分 終了）